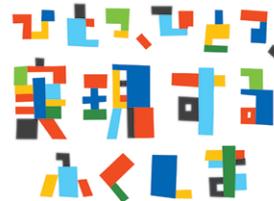


今できること
プロジェクト
2023-2024
再生と伝承



相双地域に確かな未来を描ける、 真の再生を目指して。



福島県浜通り地方の宮城県境から広野町以北を指す「相双地域」。東日本大震災では地震・津波・原発事故の複合災害を経験、同じ被災県でも宮城・岩手とは様相が異なります。このツアーでは、大熊町の住民帰還を進めるため帰還困難区域に設定された特定復興再生拠点区域や除染廃棄物の中間貯蔵施設を視察。富岡町では語りへの案内で町の現況に触れ、地域が目指す故郷再生の未来について耳を傾けます。

大熊町 中間貯蔵工事情報センター

2045年までに除染廃棄物を福島県外で最終処分するまでの間、安全かつ集中的に貯蔵するのが中間貯蔵施設です。双葉町と大熊町にまたがる帰還困難区域内の東京ドーム340個分の広大な敷地に造られました。専用車両で土壌貯蔵施設はか、原発事故後の緊迫した避難の痕跡を視察する高齢者施設「サンライトおおくま」では、1.3kmの距離から処理水タンクや廃炉作業中の福島第1原発を遠望します。(要・身分証明書)

https://www.jesconet.co.jp/interim_infocenter/



▲電話の受話器が外れ、床に物が散乱したサンライトおおくま事務室



▲サンライトおおくまの駐車場に放置された車両

富岡町3・11を語る会

富岡町民が語り人(かたりべ)として活動を行っており、自身の体験や現在の心境、復興への思いを伝えています。語り人がバスに同乗し、全町避難を強いられ県内外を点々とし、自宅を解体した経験を踏まえながら、富岡漁港、夜の森桜並木、JR常磐線夜ノ森駅などを案内してもらいます。

<http://www.tomioka311.com/>



▲夜の森の桜と無人の家並み



▲富岡漁港の防波堤から眺めた福島第2原発

とみおかワインドメニュー

2017年4月に町の9割の面積で避難指示が解除される前の2016年より町民有志10名でワイン用ブドウ栽培を開始。少しずつブドウ畑を拡げ、現在はJR富岡駅前を中心に3.8haの圃場に8品種10,000本のブドウを栽培。2024年夏に富岡駅前にワイナリーが完成予定、2025年春からの一般販売を目指しています。

<https://tomioka-wine.com/>



▲「とみおかワインドメニュー」統括リーダーの細川順一郎さん



▲JR富岡駅に隣接する駅東栽培圃場での作業

「福島相双地域の今を知り未来を思うツアー」募集要項

旅行期日 2023年11月4日(土) 日帰り 旅行代金 1名につき 2,000円(税込)
※大人・子ども同額。※3歳以下無料。

- 募集人員/40名様(最少催行人員20名様)
- 食事条件/朝0回、昼1回、夕0回
- 集合時間・場所/7:30・仙台駅(東口バスプール)
- 服装/動きやすく汚れてもいい肌が出ない暖かい服装、歩きやすい靴(サンダル、ハイヒール不可)
- 持ち物/雨具、公的機関が発行する顔写真付き身分証明書(マイナンバーカード、運転免許証)
- 添乗員/仙台駅より全行程同行します
- 利用貸切バス会社名:みちのく観光

●行程/※交通記入例/貸切バス〜 徒歩…

7:45 仙台駅東口より出発(貸切バス)〜9:30 大熊IC下車〜「帰還困難区域・特定復興再生拠点区域」視察〜
10:10 大熊町「中間貯蔵工事情報センター」中間貯蔵施設などを見学〜12:20 富岡町「富岡ホテル」で昼食〜
13:00 「富岡町3・11を語る会」語り人の案内による町内視察〜14:30 富岡町「とみおかワインドメニュー」圃場で作業体験(予定)〜
16:30 富岡ICより常磐道へ〜 南相馬鹿島SAで休憩とお買い物〜18:30 仙台駅東口到着解散

参加条件

- ①当プロジェクトの趣旨に賛同し、理解を深めたい方
- ②当日撮影する写真と映像が、新聞・特設HP・SNSに掲載されることをご了承いただける方

※応募多数の場合は抽選となり、お申込みサイト(たびーと)にて「2023年10月20日(金)〜2023年10月24日(火)」の期間で当選発表します。結果ご確認の上、ご当選された方は期日までにお申込みサイト(たびーと)にて、購入手続きをお願いします。ご入金を確認でき次第、正式に「お申込み完了」とさせていただきます。2023年10月31日(火)までに「最終旅行案内」をご登録いただいたメールアドレス宛にお送りいたします。※ご提供いただいた個人情報は、お客さまとの連絡に使用いたします。また、当プロジェクトを主催する河北新報社へ提供いたします。

参加ご希望の方は

二次元コードからのお申し込み→二次元コードからアクセスいただき、JTBお申し込みサイト(たびーと)よりお申し込みください。

バスツアー内容に関するお問い合わせ

旅行企画・実施 株式会社JTB仙台支店 観光庁長官登録旅行業第64号(一社)日本旅行業協会正会員
〒980-8520 宮城県仙台市青葉区一番町3丁目7-23 明治安田生命仙台一番町ビル3階
TEL 022-263-6712(平日9:30〜17:30)FAX 022-263-6693 総合旅行業務取扱管理者:陶山 貴史 担当:石澤 朋久

応募締切/10月19日(木)



私たち賛同企業も、再生と伝承のために「今できること」をともに考え、このプロジェクトに賛同し、推進していきます。

IHI/アサヒビール 東北統括本部/石巻市震災遺構門脇小学校・大川小学校/岩手日日新聞社/NTTデータ東北/キリンビール 東北統括本部/ケーズデンキグループ・デンコードー/劇団四季/光輝ビルテクノス/神戸製鋼所東北支店/サッポロビール/サントリー 東北営業本部
JTB 仙台支店/住友不動産 東北事業所/生命保険協会 宮城県協会/仙台環境開発/DICグラフィックス/伝承千年の宿 佐助/東伸環境/日本製紙/日本製紙クレシア/日本損害保険協会/日本郵便 東北支社/野村不動産 仙台支店/東日本油化工業/平松剛法律事務所/藤崎富士フィルムグラフィックソリューションズ/みちのく企業グループ/三井住友海上/三井不動産/三菱地所グループ/三菱重工機械システム/宮城県建設業協会/宮城県自動車整備振興会/宮城交通/明治安田生命 仙台支社/リコージャパン 宮城支社/河北新報社(順不同)

©後援/宮城県、福島県、仙台市、石巻市、多賀城市、名取市、大熊町、富岡町、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会

これまでの活動内容や新着情報は「今できることプロジェクト」特設HPをご覧ください。

www.kahoku.co.jp/imadeki/

河北 今できること 検索

facebookページもあります。

企画・制作



営業局(今できることプロジェクト事務局)

【お問い合わせ】

今できることプロジェクト事務局(河北新報社営業部)
tel 022-211-1318